

町の課題に向き合い、提案を交えながら質問しました



播磨町中学生議会を開催
8月20日、播磨町役場にある議場の議員席に町内中学3年生の生徒会役員6人の中学生議員が揃い、河野議長の進行のもと町長はじめ町職員に一般質問を行いました。

この中学生議会では、「播磨町が好き」「播磨町に住んでよかった」を目指して、子どもたちも含め、播磨町に関わる全ての方が一丸となって、まちづくりに取り組むことが重要だと考える機会となりました。

地域学校教育課
079-435-0545

みんなで話し合う、協働のまちづくり

「町長と語ろう オープンミーティング」を実施しました
7月と8月に実施されたオープンミーティングの様子をお伝えします。



参加者 古宮地区浜幹線沿いでスピードの速い車が多いので危険。信号機を設置してほしい。
町長 信号機の設置については引き続き公安委員会に相談していく。

校児童や生徒が社会と触れ合う機会をつくっている。また、いろんな団体と連携し、まちの力で支援していく体制を整えつつある。今後も利用しやすい環境を整えていきたい。
参加者 待機児童について。
町長 子育て支援策検討会議で0、2歳の待機児童対策について検討している。また、待機児童の解消を図るため、民間事業者に新しく認定こども園を整備していただく予定である。

学校内に不審者が!

不審者対応訓練を実施しました
7月23日に危機管理課と地域学校教育課の共同開催で、町内の小中学校および幼稚園、こども園教職員を対象に不審者対応訓練を行いました。
加古川警察署、加古川市消防本部の協力指導の下、教職員63人が参加し、本番さながらの訓練でした。訓練後には、映像で振り返りながら、副町長や教育長の言葉にもありましたが、「子どもたちの命を守ることを第一に考えた行動が迅速にとれるよう」、改めて確認しました。関係機関の方々には、たくさんのご教示をいただき、実りある訓練となりました。



▲本番さながらの訓練



▲不審者に対応する訓練

参加者 防災訓練参加者が少ないので、イベントを同時に行ったり工夫が必要ではないか。
町長 防災訓練により多くの住民が参加してもらえよう工夫する。また、災害時に備えるための取り組みなどを、広報で周知していく。
参加者 庁用マイクロバスの利用について、1自治会につき年1回しか利用できない。利用回数を増やしてほしい。
町長 45自治会が年に複数回利用できるようにすると、年間かなりの数の利用が予想されるので、回数を増やすことは難しい。ただ、ニーズの高いケースは対象に加える等、今後検討していく。
参加者 古宮・本荘のまちづくりについて。
町長 土山駅北のまちづくりのように、地元住民と話し合いながら進めていく。令和6年度にアンケート調査を実施し、集計中である。
参加者 緑の拠点が石ケ池パークセンターへ移ると聞いたが、今はパークセンターの利用が活発なので、スペースに余裕があるか不安。
町長 スペース的に問題は無い。石ケ池パークセンターを緑化推進事業の拠点施設とした。



企業版ふるさと納税の寄附により、紺綬褒章を受章されました

当町ではこの寄附を活用させていただき、電気自動車の充電ステーションを設置し、電気自動車を公用車として購入しました。今後もカーボンニュートラルの実現に向け、環境に配慮した施策を進めていきます。

企画課秘書広報係
079-435-0356

同社からの寄附を称え、国から紺綬褒章が授与されました。同賞は、国の栄典制度のひとつで、公益のために私財を寄附した個人または法人・団体に対し、日本政府から授与される褒章です。



企業版ふるさと納税制度を活用し、播磨町に寄附をされた株式会社ダイセキ様（本社・名古屋市）に対し、紺綬褒章の伝達式を行いました

企業版ふるさと納税を活用し、出産・子育ての施策を推進してまいります



企画課政策調整係
079-435-0356

トーカロ株式会社様から企業版ふるさと納税によるご寄附をいただきました
トーカロ株式会社（本社・神戸市）様から、企業版ふるさと納税として50万円のご寄附をいただきました。ご支援に感謝の意を表するため、感謝状を贈呈しました。この度の寄附金は「結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境を創る事業」として、妊婦訪問や乳児健診で使用する物品の購入に活用させていただきました。

トーカロ株式会社（本社・神戸市）溶射を中心とした表面改質技術のトップランナー企業です。

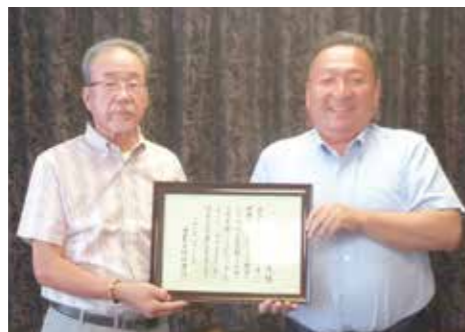


企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）について

ふるさと橋鉄琴用マレットの購入費をご寄附いただきました



▲喜瀬川に架かるふるさと橋



▲ぜひ、多くの人に使ってもらいたいです

企画課土木管理係
079-435-2365

ご寄附いただいた木下孝史さんへ感謝状を贈呈しました
木下孝史さんより、ふるさと橋にある鉄琴を叩くためのマレット購入費の寄附をしていただき、8月26日に佐伯町長から感謝状を贈呈しました。ふるさと橋は通称メロディー橋と呼ばれており、橋にある鉄琴を叩くことで、唱歌「ふるさと」のメロディーを奏することができます。ふるさと橋を渡る機会がありましたら、ぜひご利用ください。

全国大会・近畿大会のため表敬訪問 - 地元中学生の挑戦

8月17日から20日に福井県で開催された第51回全日本中学校陸上競技選手権大会に、進藤すずさん（播磨中学校陸上競技部）が、女子走高跳の種目で出場されました。また、京都府で開催された第73回近畿中学校総合体育大会に、榎田結永さん（播磨中学校陸上競技部）が、円盤投の種目で出場されました。2人とも初めての表敬訪問で緊張されましたが、楽しい雰囲気の中で会話が弾み、町長からの激励の言葉を胸に、笑顔で今後の抱負を語ってくれました。

企画課秘書広報係
079-435-0356



▲今後の活躍にも期待しています

進藤すずさんが全国大会に、榎田結永さんが近畿大会に出場

祝！29・30人目の播磨町ふるさと賞を受賞！



▲今後も活躍するお二人を応援します！

植原瑛心さんと米澤寿笑さんに播磨町ふるさと賞を授与しました
植原さんと米澤さんは（ともに播磨小学校6年生 二見少年柔道クラブ所属）、今年7月に行われた第44回全国少年柔道大会（団体戦）で見事優勝を飾りました。その輝かしい成績とこれまでの努力を称え、播磨町ふるさと賞を贈り、佐伯町長から記念の盾が手渡されました。佐伯町長からは「以前の表敬訪問の時よりも凛々しく、自信に満ち溢れている。全国大会で優勝したことは非常に誇らしい。これからの活躍を楽しみにしています」と、さらなる飛躍に期待を寄せました。

企画課秘書広報係
079-435-0356

新たな棋風を巻き起こせ！播磨町在住のアマチュア棋士が全国へ！

9月14日から15日にかけて東京都で開催された第78回全日本アマチュア将棋名人戦全国大会に、播磨南中学校出身の佐々木優綺さんが出場されました。佐々木さんは、7月27日、神戸市で行われた「第67回兵庫県アマ将棋名人戦（A級）」で初優勝。全国への切符を手にし、大会出場前に町長を表敬訪問し、激励の言葉を受けました。令和4年度にも第58回全国高等学校将棋選手権大会に出場しており、当時もベスト4の成績を修められています。幼少期から鍛えられた棋力に更なる飛躍を期待しています！

企画課秘書広報係
079-435-0356



▲更なる飛躍を期待しています

播磨南中学校出身の佐々木優綺さんが全国大会に出場